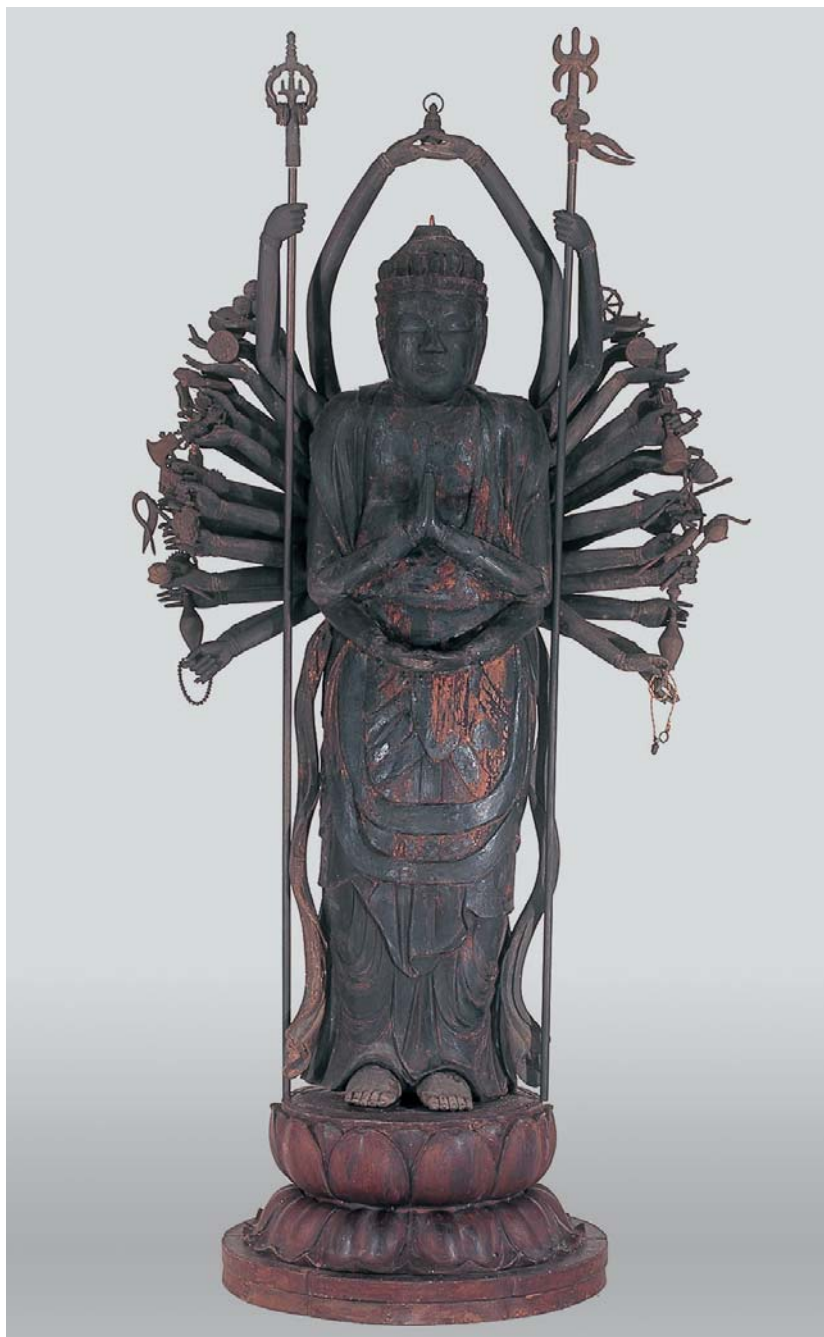


修復前 before restoration



修復後 after restoration

千手観音立像

Standing Senju Kannon (Sahasrabhuja)

木造

像高 149.0 cm

平安時代 12世紀

那古寺 千葉

Wood

H 149.0 cm

Heian period, 12th century

Nago-ji Temple, Chiba

本像は、一木造、顔は三角形の鼻と切りつけただけの長い眉と目で、土着のエネルギーを感じさせる地方色豊かな作例の立像である。奈良時代の行基作と伝えられているが、平安時代後期の制作と考えられる。

頭部から胸部中央あたりまでが当初部分と思われ、それ以外は、各時代の修理が加えられていて、当初とは作風が異なっている。

脇手の脱落等傷みが激しく、後世の修理箇所に施された補彩の変色もあり急ぎ修復が行われた。